

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- W=36を追加しました。
SSポートG II積雪100cm耐風性能62mm仕様、
SSポートG II積雪150cm4本柱仕様、ゆき盛くんII・耐風くんII lightを追加しました。

- 商品をご確認のうえ、梁に貼付けたPLラベルに示す積雪量になる前に、必ず雪おろしを行うことを施工にご説明ください。
カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
屋根ふき材(折板)の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4~7日の養生期間が必要です。
作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具(保護帽、安全带、眼・耳・手足の保護具)を着用し、安全に作業を行ってください。
作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
商品の運搬、組立て、取付けは相応の人数で行ってください。
ぬじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。皮膚に直接触れることにより、かぶれが起こるおそれがあります。口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。

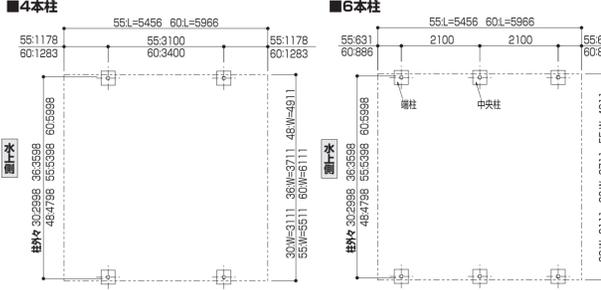
本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

本説明書は、「SSポートGII、ゆき盛くんII・耐風くんII 単体」の組立・施工について説明しています。3面囲いパネルセット取付けの際は、柱の埋込み位置、折板の穴加工位置などが異なります。「3面囲いパネルセット」の組立・施工説明書を併用してください。

基礎について

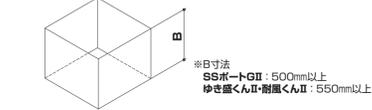
柱の位置決め

- 柱位置を決める際、家屋の屋根、軒などにカーポートが干渉しないように考慮してください。
サイズにより柱間寸法が異なるため、本寸法図は、柱外々での寸法を示しています。



基礎寸法

- 基礎寸法は、右表を基に積雪量、柱高さ、本体サイズおよび地耐力に従ってください。
基礎は、①独立基礎と②土間コンクリート考慮基礎の2種類があります。②の場合は、「土間コンクリート考慮の基礎条件」を満たしていることを確認してください。
寒冷地で凍上するおそれがある場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。



土間コンクリート考慮の基礎条件

- 土間コンクリート厚: 100mm以上、有筋
土間コンクリート強度: 18N/㎡以上
緑端距離: 200mm以上
地耐力: 50(100)KN/㎡以上

同梱一覧

Table with columns for parts like 柱 (Pillar), 梁 (Beam), 部品 (Parts), and their quantities.

Table for 部品 (Parts) including 部品名 (Part Name), 品番 (Part No.), and 備考 (Remarks).

Table for 部品 (Parts) including 部品名 (Part Name), 品番 (Part No.), and 備考 (Remarks).

Table for 部品 (Parts) including 部品名 (Part Name), 品番 (Part No.), and 備考 (Remarks).

部品 GCD-(DS)E#-# [H] V-##

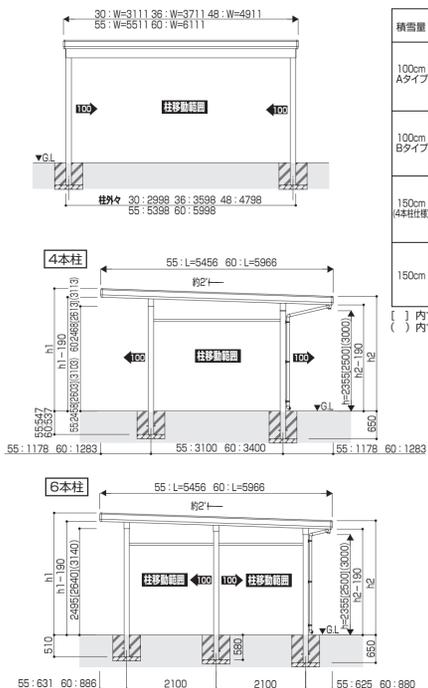
Table listing various parts (柱アンカー, 梁キャップ, etc.) with their specifications and quantities.

部品 ECD-(DS)-UE#-6 [H] V

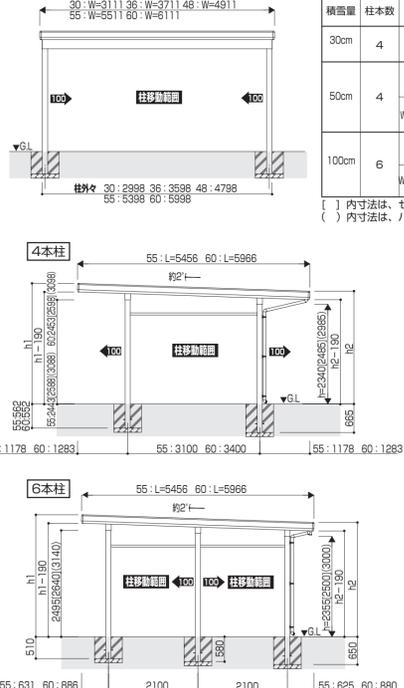
Table listing various parts (柱アンカー, 梁キャップ, etc.) with their specifications and quantities.

寸法図 (単位: mm)

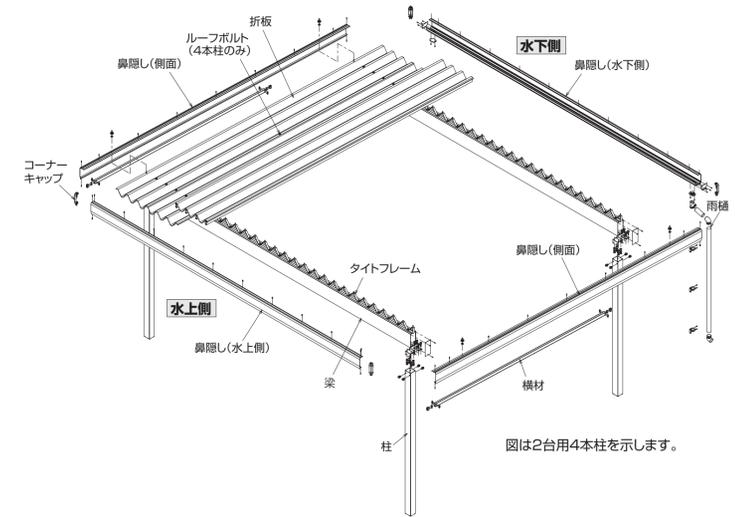
SSポートGII, SSポートGII 積雪150cm4本柱仕様



ゆき盛くんII・耐風くんII, SSポートGII 積雪100cm耐風性能62mm仕様

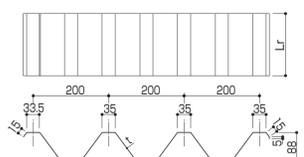


全体構成図



折板詳細

Table for 折板詳細 (Roof panel details) including 呼称 (Designation), 寸法 (Dimensions), and 枚数 (Quantity).



お願い

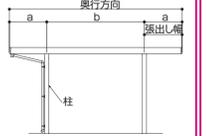
- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
組立ては、所定のぬじを使用し最後まで締めてください。締付け不良は事故の原因になります。
建物の屋根雪が直接落ちる場所は取付けないでください。
ユニットの組替えなどにより製作する場合は、製作範囲を確認して製作してください。
基礎のコンクリートには塩素系の混和剤(急結剤など)や海砂を使用しないでください。
柱の腐食の原因になります。
取扱説明書を施工様にお渡しください。

チェックシート

Table for チェックシート (Checklist) with columns for 項目 (Item) and チェック欄 (Check column).

注意

奥行方向出し部のみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。



1. 組立・施工

1 柱の切断・加工

柱を切断する場合

- 各穴に入る柱を決めてください。
- 穴底からの埋込み深さを測定し、深さを確保してください。
SSポートGII・SSポートGII 積雪150cm4本柱仕様：500mm以上
ゆき盛くんII・耐風くんII・SSポートGII 積雪100cm耐風性能62mm仕様：550mm以上
- 測定した埋込み寸法の誤差寸法と屋根勾配(右表参照)を考慮して、各柱の切断寸法を決めてください。

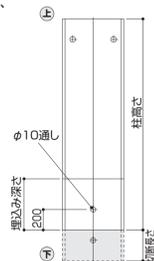
側面から見た柱本数	呼称奥行 L	柱ピッチ	1ピッチあたりの柱径の差
2	55	3100	103
	60	3400	113
3	55/60	2100	70

- 各柱の下端を切断してください。

ポイント

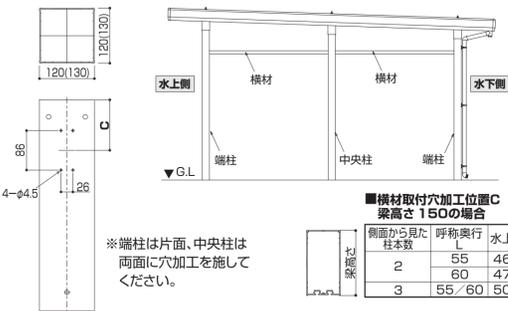
アンカー用の穴がある方が下側です。

- 柱を切断し、アンカー用の穴を失った場合は、右図を参考に穴加工(φ10通し)を施してください。



横材を取付ける場合

表を参考に、横材取付位置に穴加工(φ4.5)を施してください。



横材取付穴加工位置C

梁高さ150の場合

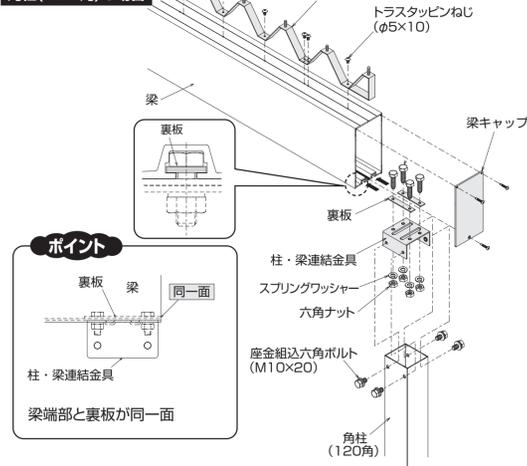
側面から見た柱本数	呼称奥行 L	水上側	水下側
2	55	463	360
	60	473	360
3	55/60	500	430

梁高さ250,280の場合

側面から見た柱本数	呼称奥行 L	水上側	水下側
2	55	333	230
	60	343	230
3	55/60	370	300

2 梁・柱の取付

角柱(120角)の場合



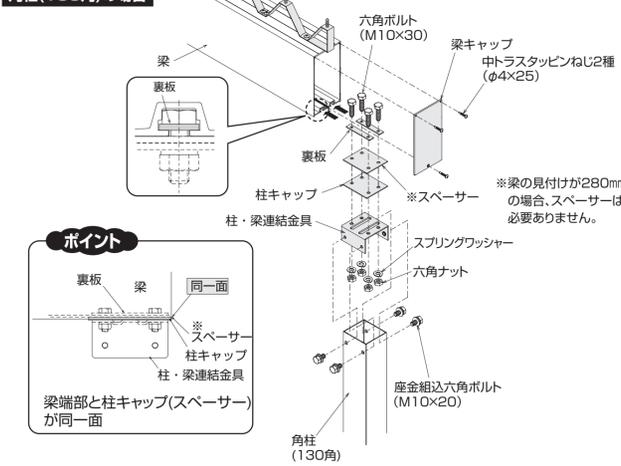
ポイント

裏板 梁 同一面

柱・梁連結金具

梁端部と裏板が同一面

角柱(130角)の場合



ポイント

裏板 梁 同一面

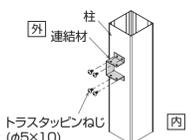
※スペーサー

※梁の見付けが280mmの場合、スペーサーは必要ありません。

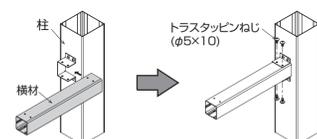
梁端部と柱キャップ(スペーサー)が同一面

3 横材の取付

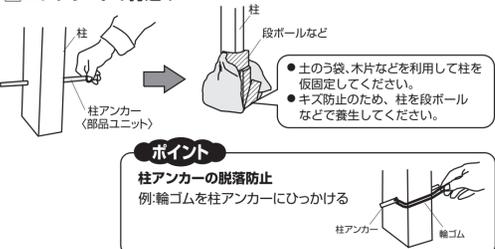
- 連結材を柱に取付けてください。



- 横材を連結材に取付けてください。



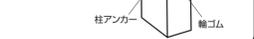
4 コンクリートの打込み



ポイント

柱アンカーの脱落防止

例:輪ゴムを柱アンカーに引っかける



お願い

- 基礎コンクリートには、塩素系の凝固剤(急結剤など)や海砂を使用しないでください。柱の腐食の原因となります。
- 凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。

φ5水抜き穴(穴側)埋合加工



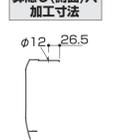
注意

折板・鼻隠しの取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

5 折板・鼻隠し(側面)の加工・取付

- 表を参考に折板と鼻隠し(側面)に穴加工(φ12)を施してください。

鼻隠し(側面)穴加工寸法



お願い

- 柱移動をした場合は、穴位置を移動した柱にあわせて加工してください。
- サビの原因になりますので、折板から切粉を取り除いてください。
- 折板を重ねた状態で穴加工しないでください。

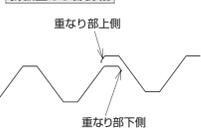
折板・鼻隠し(側面)の加工位置

呼称奥行 L	折板長さ Lr	側面から見た柱本数	加工位置
55 [60]	5390 [5900]	2 ※1	折板 1144 [1249] 3102 [3402] 1144 [1249]
			鼻隠し 1144 [1249] 3102 [3402] 1144 [1249]
55/60	5390 [5900]	3	折板 594 [849] 2101 2101 594 [849]
			鼻隠し 594 [849] 2101 2101 594 [849]

[] 内寸法は、L60の場合
※1側面から見た柱本数が2本の場合、折板同士が重なりあう長尺方向の中央部にルーフボルト取付用の穴加工(φ12)を施してください。

- 折板をのせ、鼻隠し(側面)を取付けてください。

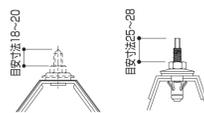
折板重なり部詳細



お願い

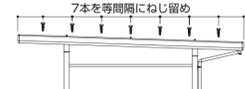
折板には向きがありますので確認してください。逆向きに取付けると雨漏りの原因になります。

- 折板取付ナットで固定し、ボルトキャップをたき込んでください。

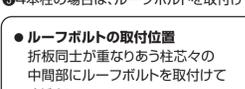


- 鼻隠し(側面)と折板をねじ留めしてください。

■4本柱



■6本柱



お願い

折板同士が重なりあう柱芯々の中間部にルーフボルトを取付けてください。

ルーフボルトの取付位置



ルーフボルトの取付方法

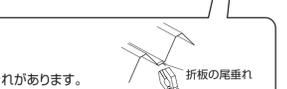


お願い

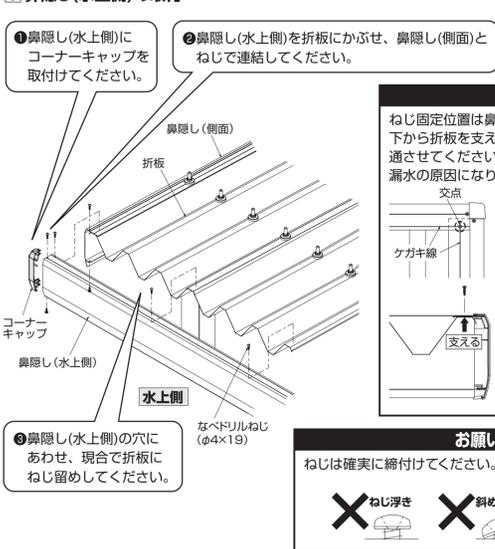
屋根勾配が推奨値より緩くなった場合、軒先尾垂れを加工してください。加工しないと、折板の下面に水がまわり込んでくるおそれがあります。

屋根勾配が推奨値より緩くなった場合

軒先尾垂れを加工してください。加工しないと、折板の下面に水がまわり込んでくるおそれがあります。



6 鼻隠し(水上側)の取付



お願い

ねじ固定位置は鼻隠しのケガキ線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。取付けが不十分な場合、漏水の原因になります。

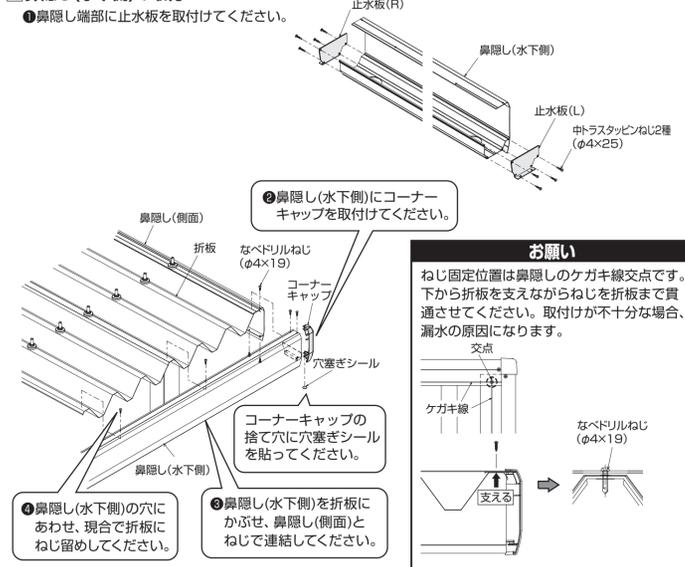


お願い

ねじは確実に締めてください。雨漏りの原因になります。

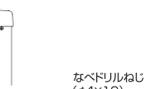


7 鼻隠し(水下側)の取付



お願い

ねじ固定位置は鼻隠しのケガキ線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。取付けが不十分な場合、漏水の原因になります。



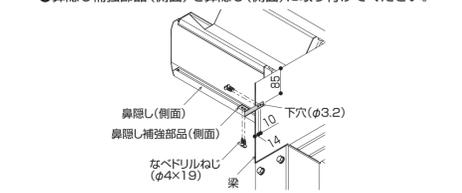
お願い

ねじは確実に締めてください。雨漏りの原因になります。



8 鼻隠し補強部品の取り付け(SSポートGII 積雪100cm耐風性能62mm仕様の場合)

- 梁に下穴(φ3.2)をあけてください。
- 鼻隠し補強部品(側面)を梁に取り付けてください。
- 鼻隠し補強部品(側面)を鼻隠し(側面)に取り付けてください。



9 鼻隠し補強部品の取付(SSポートGII 積雪100cm耐風性能62mm仕様の場合)

- 鼻隠し補強部品(水上)の取付け個数を確認し、折板の谷底に等間隔に配置してください。
1個：W30、W36
3個：W49、W55、W60
- 鼻隠し補強部品(水上)の取付け位置に、下穴(φ12)をあけてください。
- 折板の穴加工にあわせ、鼻隠し(水上側)に下穴(φ6)をあけてください。
- 鼻隠し補強部品(水上)を鼻隠し(水上側)にねじで取り付けてください。
- 鼻隠し補強部品(水上)を折板に固定してください。



2. 雨樋の取付

接着剤にて順次組立ててください。
SSポートGII 積雪100mm耐風性能62mm仕様の場合、たて樋取付金具5個を柱に取付けてください。

